

令和7年（2025年）2月3日

岩手県人連合会 令和7年「新春の懇親会」出席報告

日時・場所

- 令和7年2月2日（日）
- 受付開始：12:00
- 総会開始：13:00
- 懇親会：13:00 - 15:30
- 場所：東天紅上野店 3階「鳳凰の間」
- 会費：8,000円



2025年2月2日（日）、東天紅上野店で岩手県人連合会の「新春の懇親会」が開催され、223名の出席者が集まりました。北上ふるさと会役員 渡邊会長、菅野副会長、小原幹事長代理、そして私 幹事長の菊池 4名が出席しました。

左端は花巻人会 瀬川会長



プログラム

1. 開会宣言
2. 会長挨拶（白土連合会会長）
3. 来賓挨拶（岩手県東京事務所 高橋所長）
4. 乾杯（岩手日報 菅原東京支社長）
5. 歓談
6. アトラクション（金津流横浜獅子舞）
7. 閉会宣言



銀河プラザによる会場内物産販売

事務局長の曾部氏が司会進行を務め、会長の白土連合会会長による挨拶の後、岩手県東京事務所の高橋所長から来賓挨拶があり、続いて岩手日報社の菅原東京支社長による乾杯の音頭が取られ、会は盛大に開宴されました。岩手県人連合会に加盟する団体の新年会は、近隣のふるさと会との交流を深める重要な場であり、会場全体が和やかな雰囲気になっていました。



祝宴中、参加者たちはテーブル内のみならず、ビールを持って他のテーブルを回り、懇親を深めました。私たちのテーブルは、花巻ふるさと会や金ヶ崎人会の方々とテーブルが近く、名刺交換し、ビールを交わしながら懇親を深めました。会話に夢中となるあまり料理を楽しむことをあまりできませんでした。新しい出会いもあり、大変満足でききるものでした。

アトラクションとして登場した

「金津流横浜獅子躍」は、奥州市梁川で200年以上継承されている金津流獅子踊を横浜在住の方が学び、創設された郷土芸能です。この獅子躍は出席者たちを大いに楽しませ、会場は拍手喝采の渦に包まれました。



新年の挨拶や歓談、アトラクションを楽しんだ後、司会者から閉会の挨拶があり、次回6月の総会での再会を約束して閉会となりました。

以上が、令和7年「新春の懇親会」の参加報告となります。今年も素晴らしい時間を過ごせたことに感謝し、更なる発展と交流を願っています。

幹事長 菊池 潤